

銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月6日(日)▼七時半、朝食。やや酒残る。九時過ぎ、「いなっせ」第二十四回「信州伊那井月俳句大会」。伊那市長へ学校図書として『漂泊の俳人 井上井月』二十一冊を贈呈。曾谷晴子さん、伊那市長賞、角川『俳句』賞を受ける。宮坂静生先生の講演後、当日俳句の披露。唐沢静男君選者。「銀漢」の仲間、大活躍。あと打ち上げ。あと、町の「門・やません」にて時間調整の酒盛り。大野田好記君に上諏訪迄送ってもらい「あずさ」にて帰る。車中昏睡。

8日(火)▼「火の会」十人。終日雨。能村研三さん「沖」の方々と。9日(水)▼台風襲来。十一時、杉並年金機構に寄る。「梶の葉句会」、編集部最終校正作業は台風で中止。店閑散。

10日(木)▼十三時半、飛鳥蘭さん他、超結社の方八人の句会に発行所貸し出し。編集部最終校正は喫茶店で。あと武田さん仕事仲間三人で。伊那北先輩・井ノ口さん。閉店後、清人さん、洋酔さん他八人で餃子屋。

11日(金)▼北辰社の打ち合わせ六人。「大倉句会」あと十一人など。俳句に興味ありとて訪ねて来てくれた方あり。嬉しい限り。居合わせた朽木直さんが対応。

12日(土)▼朝、地震に起きる。十時、運営委員会。昼、「いもや」の海老天。この頃、胸焼けなし。十三時二十分より「銀漢本部句会」何と、六十四人となり、大混雑。収容限界状態。句評の時間十分しか取れず。十八時、日本橋公会堂にて庄庄康代さんの「ジャパトラ」公演。見事！あと十数名で「バーミヤン」で酒盛り。

13日(日)▼十時、発行所。来年の「銀漢」誌五周年に向けての拡大編集会議。杉阪さん、馬場龍吉さんに入っていただき、十数名。アンケートの集計結果など踏まえて討議。久々、杏一家来て英二郎君の三十七歳の誕生日を祝う。宮澤の映画受賞祝いに伊集院さん、阿川さんから到来した牛肉五キロのブロックあり、焼く。

14日(月)▼先般、近くの「沖積舎」で全国俳誌協会の色紙、短冊頒布

会があり、私にも染筆を依頼されたので、色紙と短冊を一枚ずつ出した。あまりの字のひどさにうんざりして、案内のチラシは店に貼ったものの、誰にも声を掛けなかったし、私もその展示会には行かなかった。終了後、連絡が入り、私の色紙、短冊が売れたという。えっ、本当？あの稚拙な色紙を二万円で買う人がいるの？不思議である。店、閑散。二十二時、閉める。帰ればいいのに、近くの酒場に寄ってしまう。

16日(水)▼駒ヶ根「水車」の宮澤宏治さんより、伊那谷の葡萄到来。見事。店、竹内宗一郎さん(「街」編集長)の誕生会。十名程。池内けい吾さん、愛媛のすだちを届けて下さる。別に袖口満さん、みどり、洋さん。「三水会」八人など。あと「ふくの鳥」へ六人。

17日(木)▼「銀漢句会」あと十六人。凌雲君、大阪から来る。村上朝彦、西村麒麟、阪西敦子さんなど。池田のりを、三輪初子さん。山田真砂年さんより「雲」主宰・鳥居三朗さん逝去と聞く。句集「てっぺんかけたか」が先週届き、一昨日礼状を出したのだが、その前の逝去であつた！何と、露の世…。

18日(金)▼「葛句会」あと六人。渡辺さん夫人と。「湯島句会」のメンバー。いつの間にか結婚している。展枝さんの兄上逝去と。休養。一日は否さん一家も来てバーベキューパーティー。松茸、ステーキ、秋刀魚など焼く。

24日(木)▼店「雛句会」八人。広渡敬雄さん三人。「天為」の方々、稲垣恭司さんグループ、池田のりをさん「知音の小沢麻結さん他。25日(金)▼主宰仲間の三ヶ月に一度の「白熱句会」。菌に衣着せぬ意見交換に刺激を受ける。発行所「金星句会」のあと六人。

26日(土)▼隣家からせり出している金木犀およそ六・七メートルはあろうか。満開にて家の中まで香りが届く。十四時、日本橋「鮎の与志喜」にて「纏句会」。くもこのあんかけ、土瓶蒸し。題の落鮎の山椒煮。酒は「船中八策」。あと握り。トラットリア・イタリヤにて杉阪、武田、屋内氏と次期同人推挙の件などの打ち合わせ。やや風邪気味。

27日(日)▼十一月号、原稿など。十六時半、娘に呼ばれて酒盛りに。ちよっと早過ぎないか。海鞘、明石の蛸、鰯カマ塩焼、いくらと大根おろし、栃尾の油揚げなど。日本酒。

28日(月)▼「演劇人句会」、阪西敦子さん、磐田から疾平太郎の被り物の土産。郷里駒ヶ根市は磐田見付神社の人身御供を助けた霊早太郎の地。共通の伝説が残る。

29日(火)▼何とも！閑古鳥。

30日(水)▼「Oh! 月見句会」と天野小石さん誕生会。三十八人程集まる。遠くは坂口晴子さんも。三句出し五句選。薄や団子など飾る。皆、大酒飲み。

10月1日(木)▼都民の日とて、朝、孫達がいる！店「十六夜句会」あと九人。西村麒麟夫妻、村上朝彦さんなど。

2日(金)▼柴山つぐ子さん法事で上京とて寄って下さる。対馬康子さん、夕方、文部大臣室に呼ばれ、句集及び長年の俳句活動に対する表彰を受けたと。同行した天野編集長と来店。何と！おめでとーございます。ヴーヴクリコで乾杯。洋酔さん、水内慶太さん来合わす。発行所「大倉句会」あと十四人親睦会。伊那谷の小学校時代の友人から来月十数人で上京予定にて「銀漢亭」に来たいと。但しその日、私は京都にて、残念ながら……。

3日(土)▼天気良し。久々、何ともない休日にて、午後、二駅先の粕江を散策。泉龍寺、弁天池、古墳など。戻って昼寝。沖繩豚(アグリ)とキャベツ味噌炒めなどの夕食。ラグビーの対サモア戦を見る。勝つ！

4日(日)▼次女の長男、小学校運動会にて久々、高井戸へ。午前中応援。十三時、中野サンプラザにて「春耕同人句会」。「炙谷」にて親睦会。あとホルモン屋。「未来図」の飯田冬真、篠崎央子さん合流。記憶不明瞭ながらもう一軒、一人で飲んだ……様子。

5日(月)▼酒、残っている。店「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十四人。肖子さん、じゃがいも沢山持つて来てくれる。真砂年さん、清人一派、日本酒の会あと、など。

6日(火)▼古市枯声さんより、秋刀魚、沢山到来。早速、朝食に塩

焼き二本。近恵さん誕生日。六、七人集まる。

7日(水)▼俳句をかじって「銀漢亭」を知ったという方、神保町の馴染みの店が閉店し飲み仲間相談したら勧められてという方などが来て嬉しいこと。「宙句会」あと七人。「ささぎ句会」あと九人など。

8日(木)▼「春耕賞」の選。五十九通。上位十編送る。続いて「銀漢賞」選句に取りかかる。七十三編の応募。店、閑散。

9日(金)▼今泉礼奈幹事の東大学生俳句会の句会七人(竹内宗一郎さんゲスト)など。

10日(土)▼上越新幹線・羽越本線を乗り継ぎ昼過ぎに鶴岡。武田さんの息女・菅原真理子さん夫妻の迎えを受ける。盤水先生の御長男丈人さん、甥の文弘さん、角川「俳句」の元編集長・鈴木忍さんとも合流。総勢十七名程で田麦侯へ。ここから六十里越街道山船頭人協会・帯刀春男さんの案内を得て二時間程、樺林の中の復元された街道を散策する。夜、鶴岡の「たかもり」にて宴会。地元のおべ小萩さん(「月の匣」同人)に参加してもらう。芋煮他旨し！宿泊は湯田川温泉「九兵衛旅館」。湯、良し。少し晩酌。

11日(日)▼朝湯。朝食豪華。八時発、庄内神社。丙申堂など見学。十一時、「寢覚屋半兵衛」にて麦切。迎え酒。禅寺・善宝寺。十二時四十五分、鶴岡駅にて銀漢の仲間を迎え、三光院の粕谷典海さんの案内で湯殿山。注連寺に菅原庄山子さん来てくれて庄内柿沢山！差し入れあり。庄山子さん九十二歳間近と。自分で車を運転されている。あと、三光院へ。久々、粕谷谷子さんにお目にかかる。お元気！十八時半、五重塔のライトアップを見る。宴会。部屋にて二次会。

12日(月)▼八時発、月山八合目へ。樺黄葉の中。下りて出羽三山神社参拝。宮野直生宮司のお講話を聞く。来週、娘婿の宮澤の監督映画「うみやまあいだ」の上映が鶴岡であるが、何と三山神社でチケット沢山購入してくださったと。感謝！